

会議録

| | |
|-------|--|
| 会議の名称 | 社会教育委員の会議（12月定例会） |
| 開催日時 | 平成29年12月18日（月）14時00分から16時40分まで |
| 開催場所 | 保谷庁舎1階 会議室 |
| 出席者 | 委員：内田議長、木下副議長、川原委員、攝賀委員、沼本委員、 長谷川委員、服部委員、原委員、矢野（真）委員、小林委員 事務局：岡本課長、神田係長、奥住主事 傍聴：2名 |
| 議題 | (1) 放課後子供教室事業について (2) その他 |
| 配布資料 | 資料1 視察及び部会報告 |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |

会議内容

●平成29年11月の定例会議の会議録について、承認する。

(1) 放課後子供教室事業について

●事務局より、資料1に沿って説明、報告。今後のスケジュールについて説明。

○議長：前回会議で3つの部会に分かれて議論をした。報告をお願いする。

《第1部会「学校施設開放運営協議会」について》

●提出された報告書に沿って報告。

《第2部会「連携」について》

●提出された報告書に沿って報告。

《第3部会「人材」について》

●提出された報告書に沿って報告。

○議長：ここから共通課題を絞り込んで、提言に向けまとめていきたい。

○委員：放課後子供教室事業の充実に向けて必要なものは、人、物、金なのかなと感じる。ボランティアという形には限界がくるのではと思う。学校施設については、各校によって状況が違う。場所の確保というのは本当に大変である。費用はある程度予算がないと実施が順調にいかなくなるのではと思う。学校としては教育委員会が推進していくという方向を示せば、やりやすい。もっと社会教育課でリーダーシップをとって良いと思う。教職員のこの事業に対する理解がまだまだなので課題といえる。人材については、社会の変化に対応できるかどうかが大変だと思う。教員も、

親も、働く人が多いので、時間がない。人材についての課題はかなり難しいと思う。児童館との連携等考えていけたら良いのではないかな。連絡会も参加必須にしてしまえば良いと思う。各学校施設開放運営協議会で現在リーダーシップをとっている人がいなくなっても、これまでどおりできるのかという心配もある。

- 委員：1番感じるのは、時代の変化に合わせた制度的な対応の必要性である。かかる負担に対し、何らかの形でのメリット（負担についての対価としてのお金等）が必要に思える。もう1つは趣味的活動をしている方で、貢献したいと思う方ももっといるのではないかなと思う。社会的に忙しくなっているので、地域に眠っている人材はまだあるはず。社会貢献として、企業にアプローチをかけるのも1つの手段ではないかなと思う。
- 議長：本日報告いただいたもの、出していただいた意見等を踏まえ、提言に向け活動していく。起草委員会を設けて進めることとする。

《起草委員》

内田議長、木下副議長、川原委員、攝賀委員、服部委員、矢野（真）委員

（2）その他

※3館合築について

- 事務局：西東京市民会館、中央図書館、田無公民館の検討状況について、11月13日に開催された全員協議会の資料を用いて報告する。
- 委員：公民館、図書館のレイアウト変更等は、現在の敷地に、今と同じ表面積の中で解決していく課題という認識でよろしいか。
- 事務局：そのとおりである。
- 委員：耐用年数を延ばして、あと10年使用するという見通しか。
- 事務局：考え方としてはそのとおりであり、おおよその年数を載せている。
- 委員：他自治体と比較すると、20万人都市としての施設にしてはレベルが低いという結果があるが、それについての議論はされなかったのか。
- 事務局：どのような施設が望ましいのか、必要とされているのかについては認識をしているところなので、今後の検討課題である。現時点では、耐震改修に論点を置いている。
- 委員：耐震改修にこれだけの費用をかけるということか。
- 委員：耐用年数だが、今後このように延ばし延ばしにするなら、思い切ってつくり変えた方が費用面でも見通しが良いのではないのかというような意見はなかったのか。
- 事務局：現行の施設を有効活用するという方向性のもと、耐震改修をして使用する。
- 委員：市民会館について、必要な活動場所の確保、官民連携の建設とあるが、PFI方式なのか。
- 事務局：具体的な内容については、現在まだ定まっておらず、方向性を示したということである。
- 委員：課題に記載のあるトイレについてだが、そもそも数はこれほど少ないものなのか。
- 事務局：社会教育委員の方の御意見として受けとめる。
- 委員：平成27年度の議論では、市民会館利用者と公民館及び図書館の利用者について、具体的に数字化して議論した記憶があるが、それが反映されること、また、市民が求めている施設とのバランスをとってもらいたい。
- 委員：平成27年度に議論していた内容が反映されるよう、段階を踏んだ議論をしていただきたい。

○委員：広く市民に説明し、いただいた市民意見についてそれぞれ考えてもらいたい。

※研修会等について

●第48回関東甲信越静岡社会教育研究大会静岡大会・・・11月16日（木）、17日（金）

●平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会・・・11月25日（土）

●平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・・・12月2日（土）

○議長：感想や報告をお願いします。

○委員：他市と取り組んでいる内容は同じでも、手法や組織体制等に違いがあると思った。

○委員：家庭教育支援のあり方について話を聞いた。市レベルで0歳児に着目するのはすばらしいと思った。

○委員：社会教育委員とはどういうものかについて話が聞けて良かった。

○委員：主婦が自分の悩みから立ち上がり、500人規模の団体を作り、企業も巻き込んで発展的に活動しているという事例を聞いた。子育てから地域育て、まちづくりにつながっていて非常に感銘を受けた。クラウド等も使って活動を拡大したら、もっと面白くなる事業だと感じた。

○委員：主体的に社会教育委員が活動している事例が聞けて良かった。

○委員：他市の社会教育委員の話を聞いたが、西東京市はかなり活発な委員活動をしていると感じた。

○委員：西東京市の社会教育委員の活動（放課後子供教室について）を参考にしたいという意見をいただいた。

○議長：それでは以上で本日の社会教育委員の会議（12月定例会）は終了する。

※次回会議 平成30年1月29日（月）午後1時から